


X線テレビ検査装置 SMX-1000 における

Windows® XP SP2

# 設 定 方 法

 島 津 製 作 所

分析計測事業部 NDI ビジネスユニット



## 1. はじめに

Windows® XP SP2( サービスパック 2 )で SMX-1000 の制御ソフトウェアを動作させるためには、本書に記載する設定が必要になります。

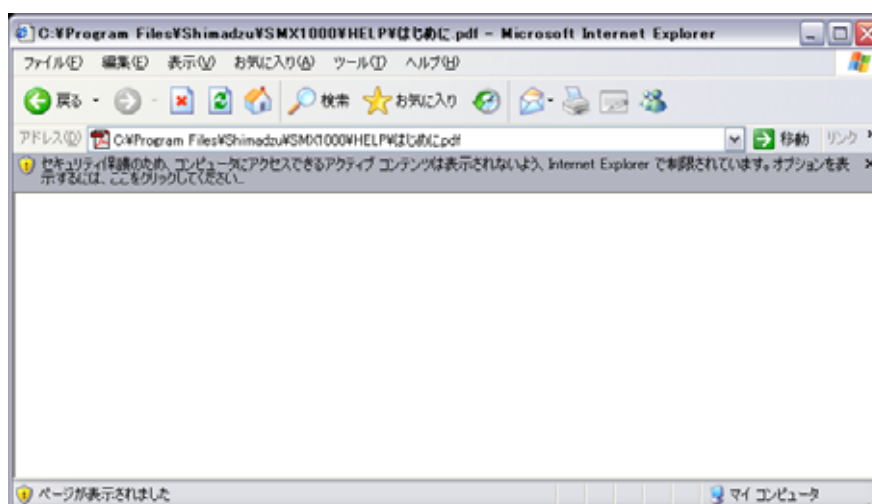
### 【Windows® XP SP2 インストールにより発生する問題】

Windows® XP SP2 をインストールされますと、SMX-1000 の制御ソフトウェアにおいて、2つの問題が発生します。( Windows® XP SP2 の OS に、SMX-1000 のソフトウェアをインストールしても同様です。)

SMX-1000 プログラムの起動時に、次のメッセージが表示され、SMX-1000 本体と通信ができなくなります。



ヘルプ画面を表示する際に、次のようなメッセージが表示され、一部機能が動作しなくなります。



これらの問題を解決する手順を以下に説明します。

2. SMX-1000 本体との通信ができなくなる問題の回避方法

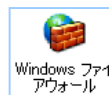
セキュリティを高めるために、PC の Windows® XP ファイアウォール機能を有効にしなが、サービスを行うプログラムごとに設定を行います。

- 1) SP2 インストール直後に SMX-1000 のソフトを起動すると、以下のメッセージが表示されますので、『ブロックを解除する (U)』をクリックします。

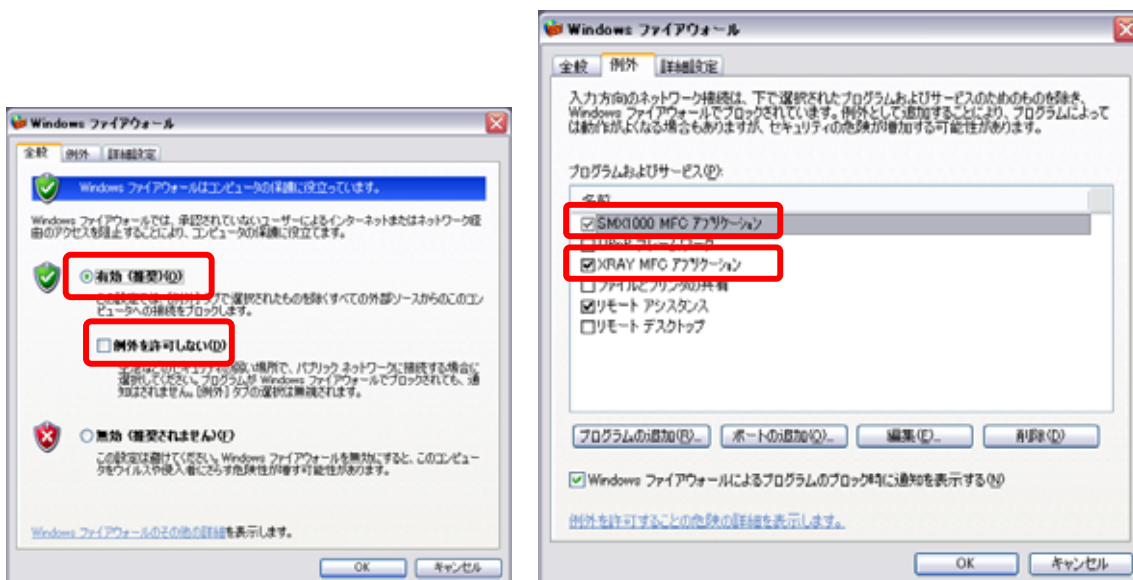


- 2) スタートメニューから〔設定〕〔コントロールパネル〕と操作し、コントロールパネルを表示します。

- 3) Windows ファイアウォールを開きます。



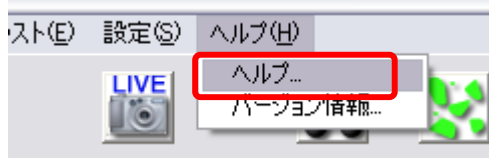
- 4) 〔全般〕タブで、『有効』のラジオボタンを選択し、『例外を許可しない』のチェックを外します。



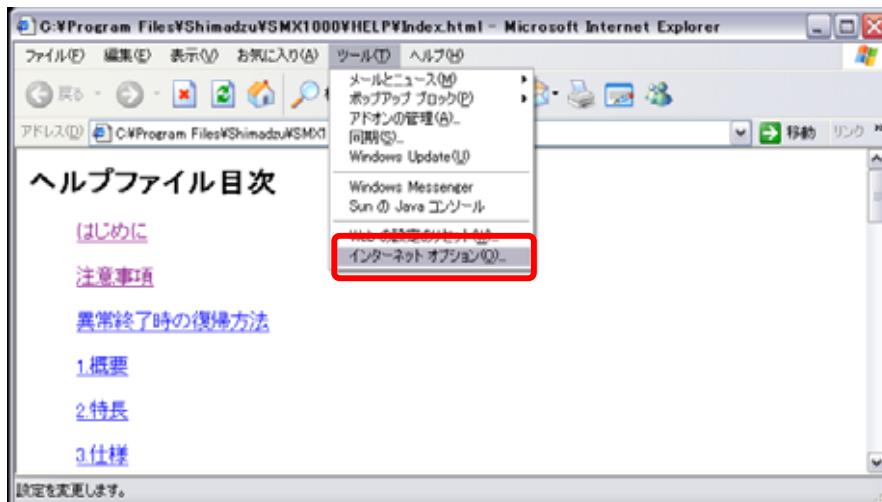
- 5) 〔例外〕タブで、プログラムおよびサービスに“ SMX1000 MFC アプリケーション ”と“ XRAY MFC アプリケーション ”があるか確認し、それぞれにチェックを入れた状態で〔OK〕ボタンをクリックし、Windows ファイアウォールを閉じます。

## 3. ヘルプ画面で一部機能が動作しなくなる問題の回避方法

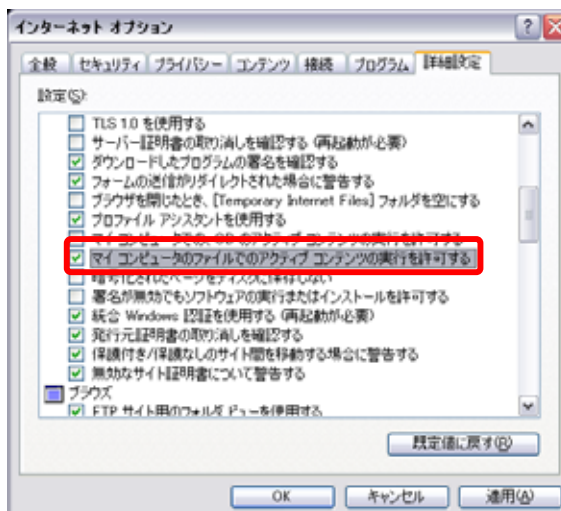
- 1) SMX-1000 のソフトウェアを起動します。
- 2) メニューから〔ヘルプ〕を選択します。



- 3) メニューから〔ツール〕〔インターネットオプション〕を選択します。



- 4) 〔詳細設定〕タブで“ マイコンピュータのファイルでのアクティブコンテンツの実行を許可する ”にチェックを入れ、〔OK〕をクリックし、インターネットオプションを閉じます。



以上